

団体名：郷土の歴史文化保存推進協議会

様式第5号（事務取扱関係）

市民提案型協働支援事業実績書

補助金コース	チャレンジコース	
事業の名称	地域の歴史文化の再発見事業	
事業の成果	<p>地域に残る多くの貴重な歴史文化財は、過去の先人たちの生活そのものであり、それを通して生まれた文化は、今に生きていることを、そして、それを継承し、後世に生きる者が正しく理解し、伝えていくという当初の思いを、地域住民と共有することができた。</p> <p>とりわけ、市内にある平泉文化関連史跡「白鳥館遺跡」と「長者ヶ原廃寺跡遺跡」の世界遺産拡張登録の実現を目指していることを知っていて、歴史文化への関心が高まっている。今回の場合も、自らの住む足元の歴史文化の再発見・再認識ということでは、当初の計画である歴史ウォーキング及び歴史講座等を通して、先人の積み上げて来た文化を知り、それを保存していくことの必要性をしっかりと認識してもらうことができた。</p> <p>そのことを通して、世界遺産の拡張登録への機運はもとより、地域の歴史文化を後世に伝ようとする機運も高まった。我々の取り組みがきっかけとなって、今回の中心テーマである「六日入白山神社の四季耕作図絵馬」を、今度は白山地区振興会が同じレプリカを作って、地区センターに恒久的に掲げ、全地区民の目に触れることができるようにしたことは、地域に対する誇りと愛着を深めた結果としてなされることであり、地域づくりの前進であり、併せて大変喜ばしい成果である。</p>	
事業の実施状況	実施期間	平成28年7月1日から平成28年11月30日まで
	実施場所	前沢区白山地内
	実施内容	<p>○ 平成28年7月30日 絵馬レプリカ入替作業及び本体の奥州市立牛の博物館への寄託 (作業員4名と業者と主催者で) 市有形民俗文化財(奉納物)指定「四季耕作図絵馬(しきこうさくずえま)」は130年程昔の安政5年旧8月1日(八朔の日)に、「六日入白山神社」に奉納された貴重な文化財である。これを今回、市民提案型協働支援事業補助金(チャレンジコース)を活用してレプリカ(写真)として神社の拝殿に掲げ、本体は第一級博物館の「牛の博物館」に寄託し、管理して恒久的に保存管理もらうことにした。</p> <p>このことにより、この絵馬(和紙に描かれた四季農耕の絵)は、130年間日に晒されてきて色褪せてきたが、これを防ぐことと、火災及び盗難の危険からも防ぐことができた。</p> <p>○ 平成28年10月27日 歴史ウォーキングの実施</p>

		<p>この絵馬の観賞はもとより、これが掲示されている「六日入白山神社」及び「六日入」の地名の起源とされている「六日入城跡」、律令制度のはしり「道の上遺跡」「合野遺跡」、縄文遺跡の「小林遺跡」「川岸場遺跡」、更にはこの地に隠れキリシタンが多くいたことを証明する「聖像発掘記念碑」とその関連お堂等の史跡を含めた歴史散策ウォーキングを実施できた。 およそ30名参加。</p> <p>○ 平成28年11月30日 歴史講座の実施 「四季耕作図絵馬」はもとより、以上の遺跡群を含め「白山の昔」と題した歴史講座を企画し実施できた。 およそ20名参加。</p>
事業実施における 役割分担	提案者が担った役割 <ul style="list-style-type: none"> ・ 絵馬のレプリカ（写真）の作成 ・ 歴史散策ウォーキングの実施 ・ 歴史講座の開催 	
	市が担う役割 <ul style="list-style-type: none"> ・ 絵馬の奥州市（牛の博物館）への寄託を受けての恒久的管理 ・ 絵馬に係る資料の公表 ・ 絵馬の奥州市有形指定文化財の広報（地元新聞等） ・ 奥州市牛の博物館主催の「白山神社 四季耕作図絵馬」の講座（平成29年3月実施予定と聞く） 	
	その他の団体の担った役割 <p>上記の再掲となるが、我々の取り組みが地元で評価され、今度は白山地区振興会が経費負担して、全く同じ絵馬のレプリカを作成し、白山地区センターに説明書を添えて恒久的に掲示することとなった。</p> <p>このことは、一層多くの地元住民はもとより広く奥州市民の目に触れる機会が増えることとなり、大変意義深いことである。</p>	
事業の見通し		<p>当会「郷土の歴史文化保存推進協議会」は、地域住民に案外知られていない地域の歴史文化を保存し、理解を深めてもらい、郷土への誇りと愛着を育み、地域づくりの一層の気運の高揚に貢献したいとの思いで設立した。今までの4年間、奥州市の地域づくりの補助金活用で取り組んできたが、この取り組みは、継続することによって一層その重要性を認識することができた。市の補助金制度に改めて感謝したい。</p> <p>取り組むべき材料は、『前沢町史』に無数にある。私共の取り組みは先人達が苦勞して発掘調査し、文献としてまとめ上げた郷土の歴史を、多くの人達がより身近なものにしてゆくことにも貢献するであろうことを確信する。</p>

様式第2号 (事務取扱関係)

市民提案型協働支援事業収支決算書

1、収入 当初 (単位:円)

項目	予算額	決算額	増減額	説明
補助金	100,000	90,000	-10,000	奥州市民提案型協働支援事業補助金 (チャレンジコース)
合計	100,000	90,000	-90,000	

2、支出 当初

項目	予算額	決算額	増減額	説明
委託料	70,200	70,200	0	絵馬複製(額サイズW1120×H895mm) ・木材額加工 15,000円 ・額塗装、他文字仕上げ 14,000円 ・絵部分加工仕上げ 36,000円 ・消費税 5,200円
報償費	20,000	10,000	-10,000	ウォーキング案内ガイド(謝礼 10,000円×1回) ・講座の講師謝礼 1万円を減額
印刷製本費	3,310	3,305	-5	・歴史ウォーキング及び歴史講座の資料の印刷製本代 30円×20部+108円×20部。 ・チラシ印刷 545円(白山地区内宣伝用)。 ・他の地区には、各地区センターの協力を得て、用紙を配布し宣伝チラシを作製配布してもらった。
通信運搬費	4,890	4,890	0	・絵馬運搬費(白山神社→牛の博物館) 4,000円(絵馬そのものは大型で重く、人手4人を要した) ・軽トラ運搬ガソリン代 890円
消耗品費	1,600	1,605	5	・歴史ウォーキングと歴史講座の資料、及び行事等の宣伝チラシ用の用紙 コピー用紙 1箱5入+内税(118円)
保険料	0	0	0	奥州市の掛けている保険を適用していただく。
合計	100,000	90,000	-10,000	